



高齢者についての研修を行い、キャンプ研修を実施しました！

7月31日(日)に、周防の森ロッジにおいて、「高齢者福祉研修・教育キャンプ事前研修②」を実施しました。中学生リーダー養成講座受講生(中学1年生)3人、光ジュニアクラブ会員(中学2年生～高校3年生)9名の参加がありました。



高齢者福祉研修では、室本 好重(むろもと よしえ)様を講師としてお迎えし、①高齢者の説明、②認知症の説明、③DVDで認知症の解説、④高齢者声掛け訓練を行いました。高齢者声掛け訓練では、高齢者役として、高齢者支援課地域包括支援係の安池さん、安武さんにも、ご協力をいただきました。最後に安武さんから、高齢者の方に対する市の取組と「ひかり見守りネット」について教えていただきました。以下は、参加者の感想です。

○今までは、「自分がやって迷惑になったらどうしよう。」と考えてしまい、話しかけることができませんでした。今回教えてもらったことを意識して、話しかけたり、対応したりしたいです。

○実際に体験してみて、大きな声で、目線を合わせて、優しくゆっくりしゃべることを意識することが大切だと分かりました。

○これから、高齢者の方が困っていたり、キョロキョロしておられたりしていたら、目線を合わせて、はっきりした声で、積極的に自分から話しかけたいです。

○高齢者の方が、お金を支払うのに時間がかかることを学んだので、急かさずゆっくりと待つことが大切だと思います。

○高齢者の方や認知症の方の特徴を分かりやすく教えていただいたので、これからきちんとした態度で接することができそうです。

○「認知症になってしまっても、心は生きている」という言葉がとても心に残りました。



教育キャンプ事前研修②では、桑原企画委員、仲山企画委員によるKYT（危険予知トレーニング）を行い、災害時をイメージした野外炊事ということで、ポリ袋でご飯を炊き、レトルトカレーを食べました。また、食器を汚さないように、ポリ袋でカレー皿を包んで食べるなど、貴重な経験となったようです。その後、キャンプファイヤーにおけるレクリエーションを、高校生リーダーの原田さん中心に研修を行いました。それから、小林企画実行委員長から、キャンプファイヤーの説明を受け、暗くはありませんでしたが、キャンプファイヤーを実施しました。以下は、参加者の感想です。

○ご飯を炊いたり、レクリエーションをしたりして、みんなと協力してできたので良かったです。班長をしたのが初めてだったので、分からないことも多かったけれど、頑張れたので良かったです。

○今回の研修では、自分が中リーの中で、どのような役割のリーダーになるべきかを考える場面がありました。自分はもともとリーダーを支える役割だったのですが、これからの中リーの活動では、みんなの前で活動を引っ張れるようなリーダーになりたいです。

○前回のキャンプ研修で、できなかった「かまどの火おこし」を、今回は成功させることができたので、うれしかったです。

○災害時に温かいご飯を食べられることが、とてもありがたいなと思いました。



高齢者福祉研修・教育キャンプ事前研修②を終えた後のアンケート結果

Q1. 一番印象に残ったことは何ですか？

キャンプファイヤーをしたこと 4人、積極的に活動する仲間がいたこと 1人

レクリエーションやレクマスターのやり方を学んだこと 3人

災害時を意識したカレーづくりをしたこと 1名、かまどの火おこしが成功したこと 1名

Q2. 参加して良かったことは何ですか？ ※一部抜粋しています。

自分に勇気をもたせることができたこと 仲間の前で発表することができたこと

みんなと協力して野外炊事ができたこと みんなの前に立って活動するという決意ができたこと